

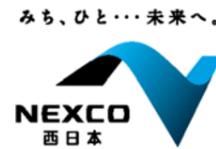
四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全に関する検討会

環境モニタリング調査結果データ集

(工事中調査)

(平成 27 年 11 月～平成 30 年 5 月調査分)

平成 30 年 9 月



目 次

■ 第1章 環境モニタリング調査の基本事項	1-1
・1.1 調査目的	1-1
・1.2 調査項目と調査範囲の考え方	1-1
・1.3 調査区分	1-1
・1.4 施工段階	1-1
・1.5 調査全体スケジュール	1-2
・1.6 調査の実施状況	1-3
■ 第2章 騒音・振動調査	2-1
・2.1 調査目的	2-1
・2.2 調査内容	2-1
2.2.1 環境モニタリング調査計画	2-1
2.2.2 全体スケジュール	2-1
2.2.3 調査方法概要	2-2
・2.3 調査結果	2-3
■ 第3章 水質調査	3-1
・3.1 調査目的	3-1
・3.2 調査内容	3-1
3.2.1 環境モニタリング調査計画	3-1
3.2.2 全体スケジュール	3-2
3.2.3 調査方法概要	3-3
・3.3 調査結果	3-4
3.3.1 定期水質調査	3-5
3.3.2 工事稼働日水質調査	3-22
3.3.3 海苔養殖場近傍調査	3-40

■ 第4章 地形調査	4-1
・4.1 調査目的	4-1
・4.2 調査内容	4-1
4.2.1 環境モニタリング調査計画	4-1
4.2.2 全体スケジュール	4-1
4.2.3 調査方法概要	4-2
・4.3 調査結果	4-3
4.3.1 潮位及び河口干潟面積の変遷	4-3
4.3.2 吉野川渡河部の地形の変遷	4-3
4.3.3 橋脚周辺の地形の変遷	4-8
4.3.4 横断線・縦断線の変遷	4-11
4.3.5 浚渫箇所地盤高計測の結果	4-12
■ 第5章 底生生物・底質調査	5-1
・5.1 調査目的	5-1
・5.2 調査内容	5-1
5.2.1 環境モニタリング調査計画	5-1
5.2.2 全体スケジュール	5-2
5.2.3 調査方法概要	5-2
・5.3 調査結果	5-4
5.3.1 潮下帯定量調査	5-4
5.3.2 潮間帯定量調査	5-34
5.3.3 付着生物調査	5-41
5.3.4 全調査結果	5-53

■ 第6章 鳥類調査	6-1
・6.1 調査目的	6-1
・6.2 調査内容	6-1
6.2.1 環境モニタリング調査計画	6-1
6.2.2 全体スケジュール	6-2
6.2.3 調査方法概要	6-2
・6.3 調査結果	6-10
6.3.1 飛翔状況調査	6-10
6.3.2 生息状況調査	6-19
・6.4 モニタリングサイト1000	6-37
・6.5 参考資料	6-40

■ 第7章 魚類調査	7-1
・7.1 調査目的	7-1
・7.2 調査内容	7-1
7.2.1 環境モニタリング調査計画	7-1
7.2.2 全体スケジュール	7-1
7.2.3 調査方法概要	7-2
・7.3 調査結果	7-2
7.3.1 刺網	7-2
7.3.2 サーフネット	7-6

第 1 章 環境モニタリング調査の基本事項

1.1 調査目的

環境モニタリング調査は、吉野川渡河部の自然環境を保全するため、工事実施段階(工事前・工事中・工事後)における、現状把握・環境監視・評価の実施を目的とする。なお、必要に応じて環境保全対策を検討することを目的とする。



※1：評価の後、必要に応じて環境保全対策を検討する。

※2：事後調査は、下部工完成後2年間、桁架設工完了後2年間実施する。

1.2 調査項目と調査範囲の考え方

橋梁整備(橋梁の存在と工事施工)による環境への影響は、工事前後の調査結果を単純に比較するだけでなく、自然変動も踏まえて適正に評価する必要がある。これらを踏まえ、各調査項目と調査範囲の考え方を表 1.2-1 に示す。

表 1.2-1 調査項目と調査範囲の考え方

調査項目	橋梁整備による直接的な影響を把握するための調査範囲	自然変動による影響を把握するための調査範囲
① 騒音・振動調査	シギ・チドリ類のねぐら付近 周辺家屋	—
② 水質調査	工事施工で設置する 汚濁拡散防止膜の周辺	左記の位置から離れた地点
③ 地形調査	橋脚設置により、地形変動が生じると 予測される範囲※1	左記の領域に隣接する範囲
④ 底生生物・底質調査		
⑤ 鳥類調査	橋梁整備により、鳥類の行動・個体数等の 変化が観測される範囲	日本全体※2
⑥ 魚類調査	計画路線上の周辺	—

※1：吉野川距離標 0.0k から上下流に 400m の範囲。

※2：日本全体と徳島県（吉野川河口）に出現するシギ・チドリ類の変動傾向を環境省等のデータから把握する。

1.3 調査区分

環境モニタリング調査の調査区分を表 1.3-1 に示す。

表 1.3-1 調査区分

調査段階	内容
①事前調査	○工事前の環境を把握するための調査 事前調査の結果は、工事前の現況把握のほか、工事中調査計画をブラッシュアップするための基礎資料とする。
②工事中調査	○工事中の環境を監視するための調査 ※本データ集の掲載範囲
③事後調査	○工事後の環境を監視するための調査

1.4 施工段階

環境モニタリング調査の施工段階を以下に示す。

○下部工施工

調査区分	施工段階
事前調査	工事着手前
工事中調査	下部工施工期間 (湧水期)
	下部工施工休止期間 (出水期)
事後調査	下部工施工完了後(2年間)

○上部工施工

調査区分	施工段階
事前調査	工事着手前
工事中調査	桁架設工期間
事後調査	桁架設完了後(2年間)

1.6 調査の実施状況

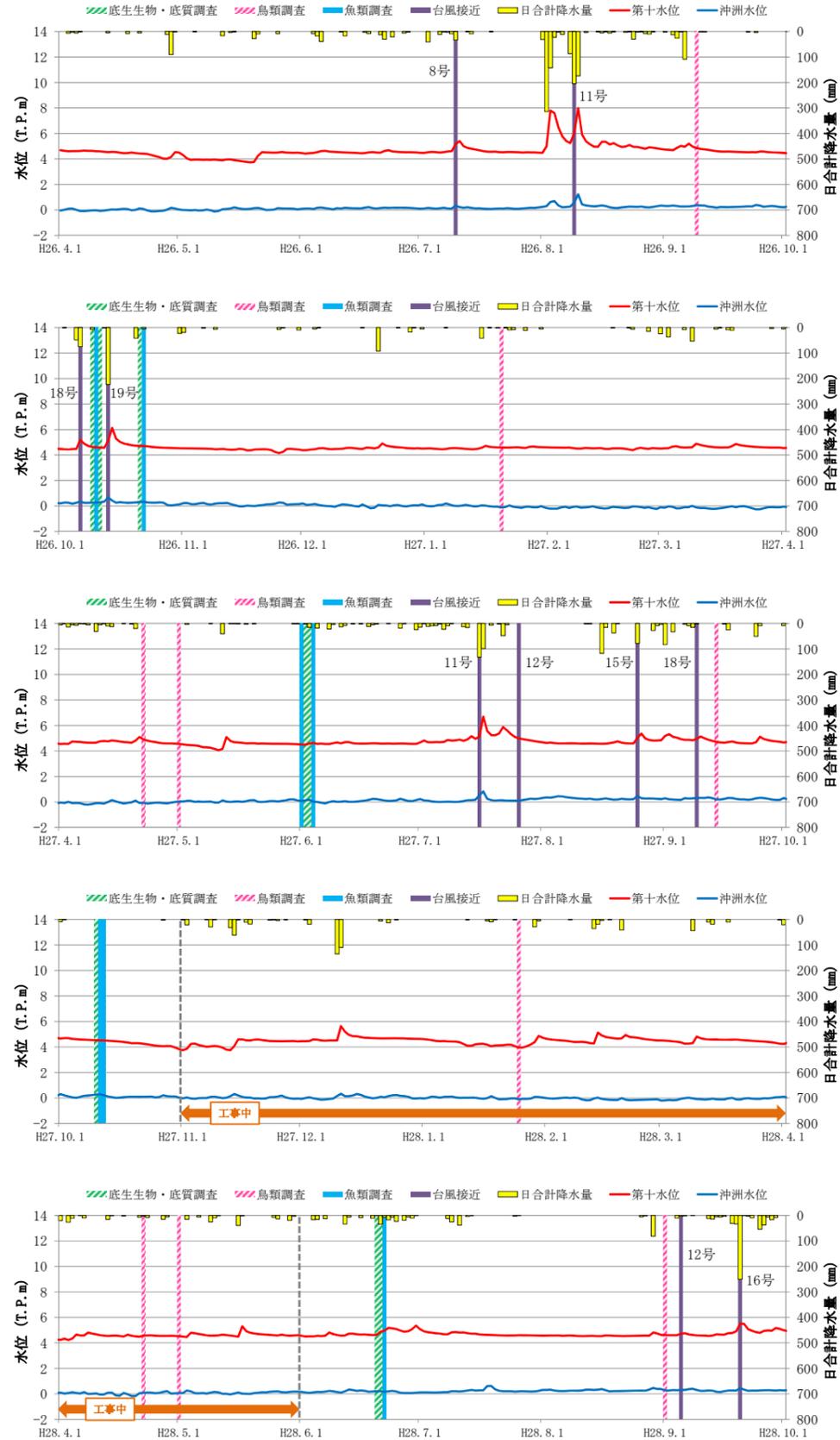


図 1.6-1 環境モニタリング調査実施日①（生物系）

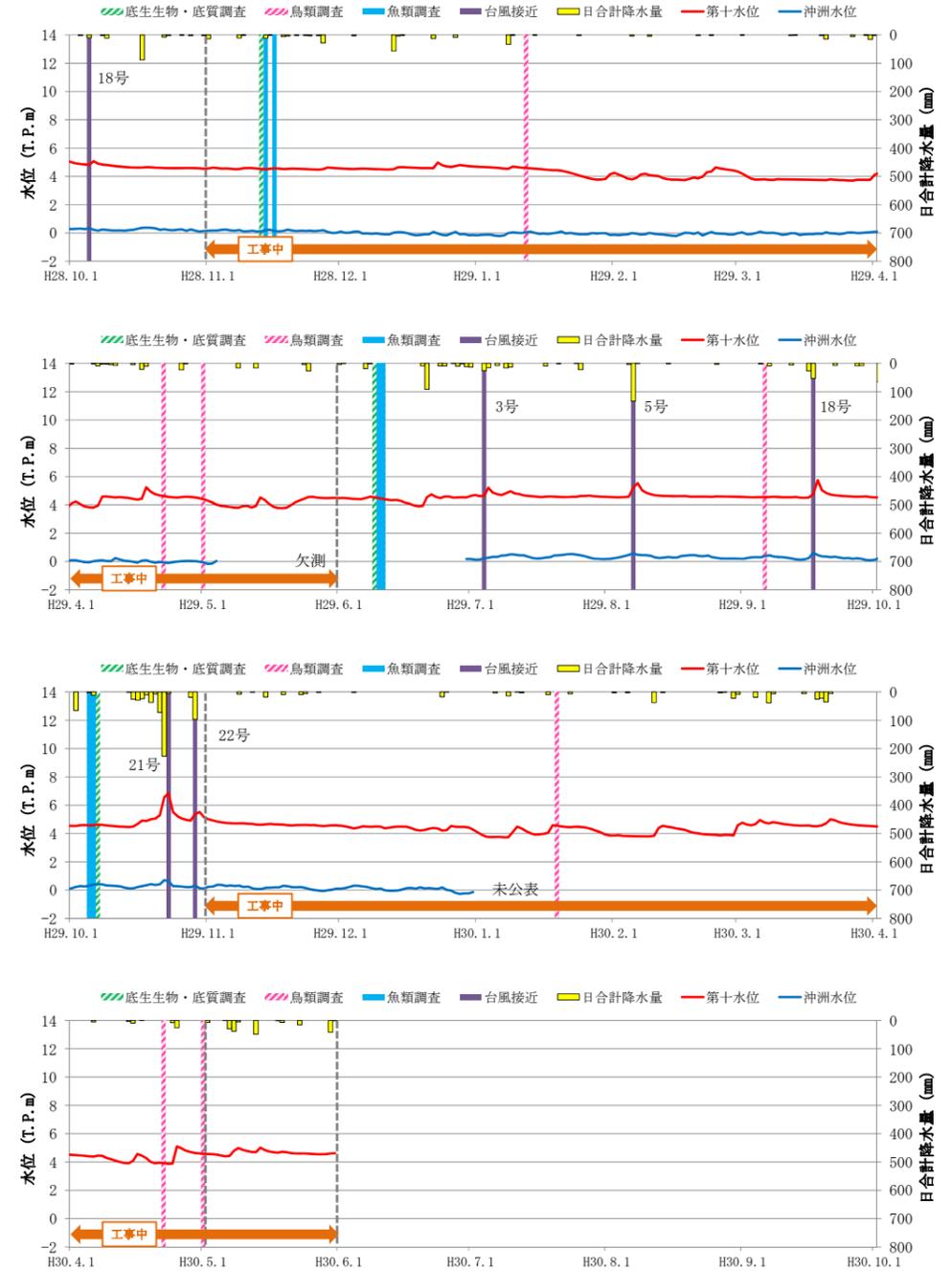


図 1.6-2 環境モニタリング調査実施日②（生物系）

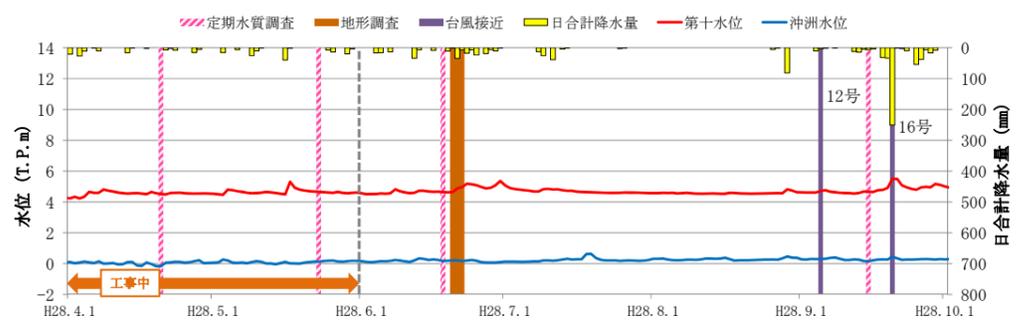
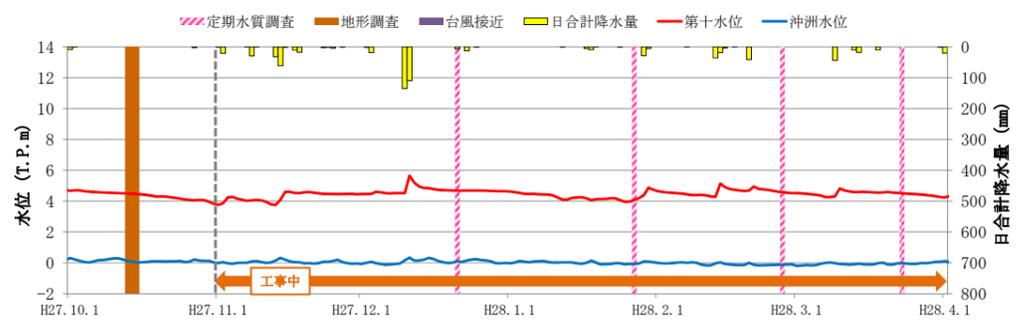
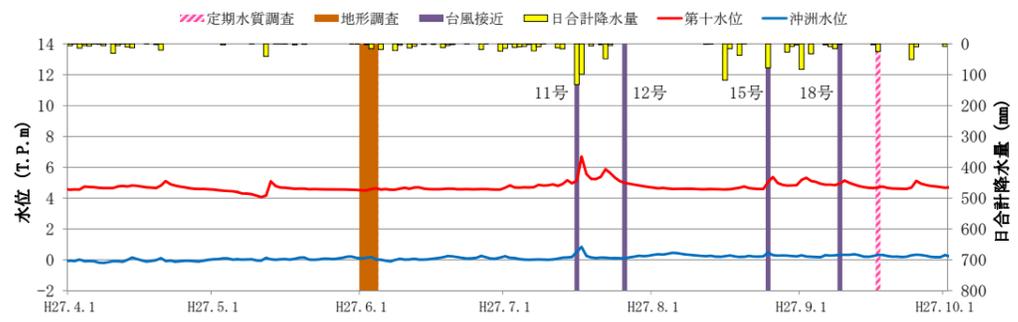
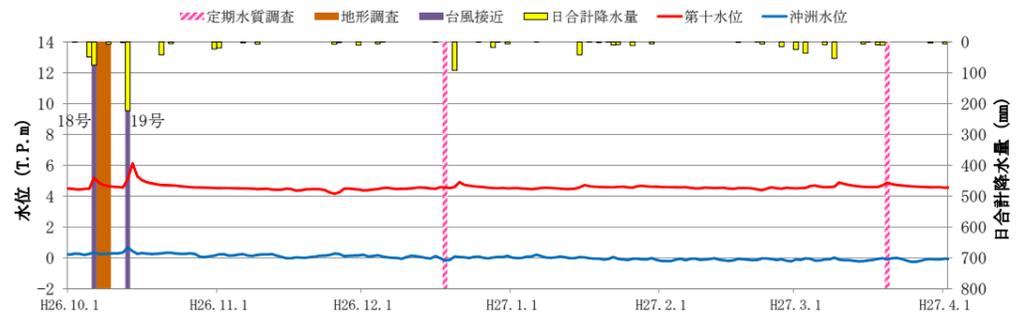
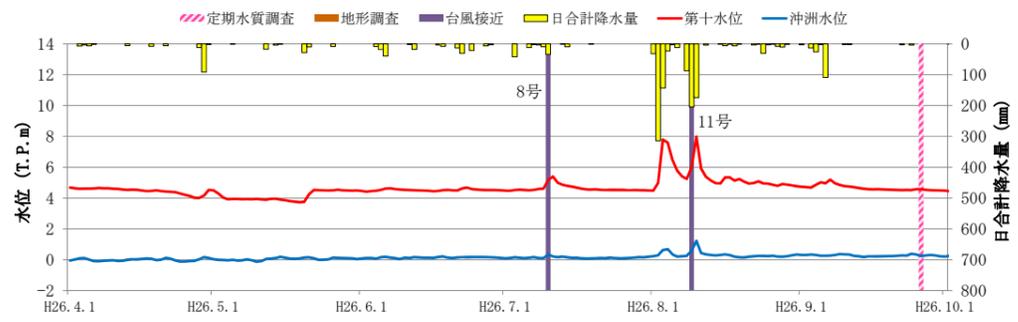


図 1.6-3 環境モニタリング調査実施日③ (生物系以外)

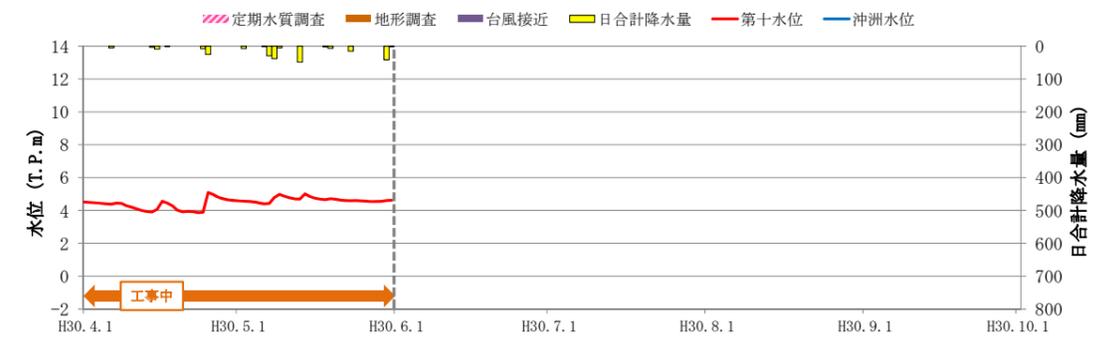
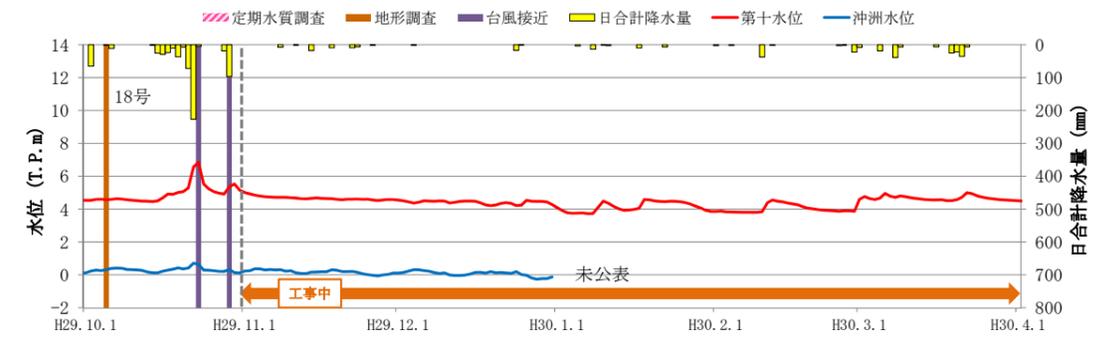
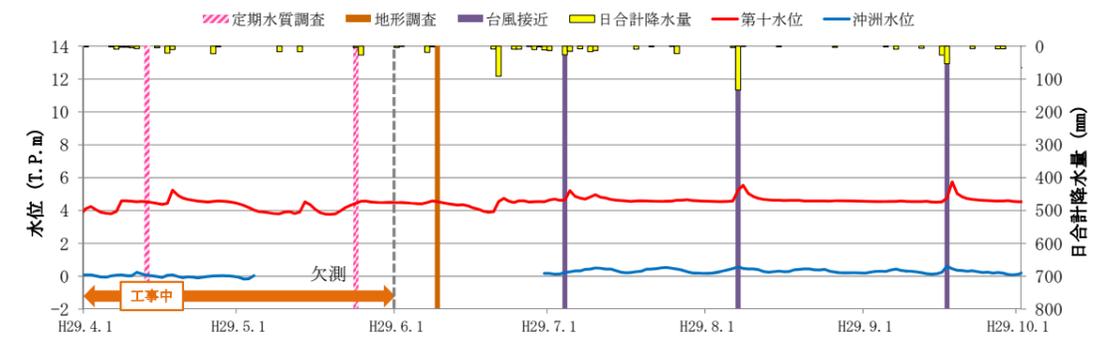
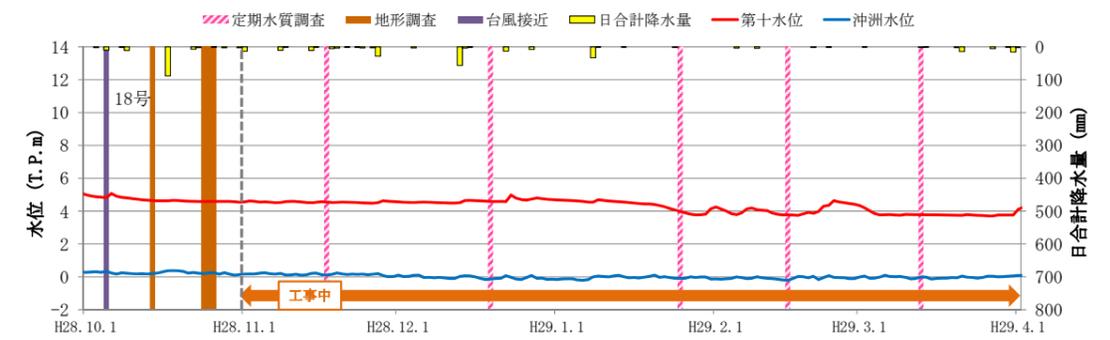


図 1.6-4 環境モニタリング調査実施日④ (生物系以外)